

1. 目的

本研究のテーマは就職活動生向けの予定管理 Web アプリケーションの制作である。このテーマの目的は、就職活動への積極性と継続性の向上にあり、そのために有効であろう機能を構築していく。また、その過程で開発に必要な技術を身につけることも、この研究の目的である。

2. システム概要

まず、当 Web アプリケーションに構築した機能は以下のものである。

- ・予定管理システム
- ・状況比較システム
- ・レベリングなどのゲームシステム

そして、この機能は主に PHP と MySQL を用いて構築されている。下図がシステムとサイトの全体図である。

The screenshot shows the Syukatsu Life web application interface. It includes sections for Profile, ToDoList, Awaiting, Record, ClearList, and Info. The Info section displays statistics for 6 users, such as '試験通過回数' (Exam Pass Count) and '内定取得回数' (Offer Acquisition Count). Below the screenshot is a system architecture diagram showing a user interacting with 'index.php' via a browser. 'index.php' sends commands to '各ファイル' (Various Files), which then interacts with a 'データベース' (Database) to retrieve and send data back to 'index.php' for display.

index.php がユーザーからの命令で各処理を記述した PHP ファイルを呼び出し、そのファイルがデータベースにアクセスし、ログインしている該当ユーザーの情報を呼び出し、表示や更新を行っている。

また、サイトのユーザビリティを向上させるためによく利用される jQuery などを用いて、UI や挙動におけるユーザーのストレス軽減に配慮している。

3. 予定管理と比較システム

サイト上部に設置されている予定登録フォームから、日付、予定内容、予定種類、就職サイトへのリンクを入力し登録ボタンを押すと「ToDoList」へ予定が登録される。このリストでは予定の「変更」「削除」と完了した場合に押す「OK」ボタンが利用できる。OKを押された予定の種類が説明会の場合、予定は「ClearList」へ移動する。また、試験だった場合は、試験結果待ちの「Awaiting」へ予定が移動する。ここでは、「通過」「不可」のボタンで試験結

果を報告してもらう。この報告をデータベースに各ユーザー蓄積していき、周りとの比較に利用する。

比較は、「試験通過回数」「不合格回数」「内定取得回数」で行われ、それぞれの全体平均と、個人の回数がサイト上に表示される。また、利用者数とその内の内定者数も表示される。これにより、自分の状況を把握しやすくなり、活動への積極性が生まれると考える。

4. 他就活サイトとの同期機能

就活予定管理サイトとして利便性を向上させるために、他の就活サイトとの同期機能を実装した。

HTTP_request2 というライブラリを利用して、リクナビとマイナビのデータを同期できるようになっている。実装が私の就職活動後だったため、同期できるのは各サイトでブックマークした企業名と企業ページへのリンクになる。また、この同期機能は各サイトの ID とパスワードを入力すれば、1クリックで行えるようになっている。

5. ゲームシステム

当サイトでは、ゲームの中でランクや実績といった目標を持たせることで、活動に対する積極性、継続性の向上を支援できるのではないかと考え、「実績」「レベル」「ランク」の 3 システムを構築した。

まず実績システムは、就職活動における目標を設けることで、主に活動への積極性を促す事を目的としている。目標をクリアすることで、実績が解除される。

次にレベルシステムは、予定が完了し「ClearList」へ移動するときに、予定の種類によって経験値が取得できるようになっている。経験による成長を、レベルという形で可視化することで、活動の継続に期待ができる。また、レベル制システムは標準ユーザーを設定し、それを軸に構築している。就職活動は企業訪問数や試験の回数など、人によって個人差が大きい。したがって、ニュースサイト等のデータと自身の経験から平均的な就職活動生を設定し、経験値の設定等を行っている。

次にランクシステムでは、レベルと試験可否回数によって、G～SSS までのランクが変動するようになっている。こちらも、レベルシステムと同じ標準ユーザーを利用して、ランク設定を行った。

6. 今後の課題

まず一番の課題は、実際に利用してもらうことだ。就活への影響と、ゲーム関係のバランスの確認を行うには、なるべく多くの人に利用してもらわないと分からない。

次に機能の拡張として、予定同期機能を強化して、ブックマークだけでなく、予定、日付等々を同期できるようにしたい。また比較機能として、予定の日付や内容から、より詳細な比較もできれば、さらに効率的な活動に繋がると考える。ゲームシステムも、よりビジュアル的なものが追加できれば、モチベーションの向上になるだろう